

# どうなる憲法—ますます大切“草の根”の運動

## 2月16日「医師歯科医師九条の会、第5回のつどい」にご参加を

### 「あいち医師・歯科医師九条の会」第5回憲法のつどい

- ◆とき 2月16日(土) 午後3時—5時
- ◆ところ 愛知県保険医協会伏見会議室

**報告①** …「憲法九条をめぐるあらたな課題～『九条の会』第2回全国交流集会報告もかねて～」

山内一征氏(「あいち医師・歯科医師九条の会」代表世話人)

**報告②** …「3周年を迎えた九条の会・医療者の会」

齊藤みち子氏(愛知県保険医協会副理事長)

**スピーチ** …「あいち医師・歯科医師九条の会」賛同よひかけ人から

松井信夫氏(名古屋大学名誉教授)

池潤氏(愛知県保険医協会副理事長)

**報告・交流** …参加者から

江間幸雄氏(みなと医療生協九条の会代表)、

渡辺のり子氏(東三河九条の会代表)

※他に、医師・歯科医師も参加する会の取り組みの報告を予定しています

※どなたもご参加のうえ、九条を守る思いをご発言ください

### あいち九条の会 結成3周年のつどい

- ◇とき 2月24日(日) 午後1時30分～
- ◇ところ 名古屋市教育館(中区、地下鉄「栄」駅10B出口徒歩1分)
- ◇講演 長峯信彦氏(愛知大学准教授)
- ◇参加無料
- 主催者: あいち九条の会

「あいち九条の会」とは? …あらゆる立場の違いをこえて、憲法九条の改定に反対し憲法を守るという一点で手をつなぎ、愛知県内の世論と運動を広げるための活動を行っています。「あいち医師・歯科医師九条の会」は同会と連絡を取り合い、積極的に取り組みに協力することを申し合わせています。



自衛隊給油艦船「ときわ」

## 狙いは自衛隊海外派兵の「恒久法」

昨年の参院選挙で、「二〇一〇年の改憲発議」を公約に掲げた自民党が惨敗、「戦後レジームからの脱却」を叫んだ安倍前首相が政権を投げ出し、憲法改正のスケジュールは大きく頓挫しました。

これは二〇〇四年に結成された「九条の会」に賛同する、全国の地域・分野別の会が七千近くまで広がり愛知でも三百を超えるなど、世論に影響を与える力を発揮しているからです。

しかし政府は海上自衛隊をインド洋に派兵する新テロ特措法(給油新法)を、四カ月に亘り年を跨ぐ百二十八日間の会期を使つての臨時国会で、強行成立させました。

これは参議院で否決された法案を、衆参両院協議会の開催もなく衆議院に再送付し、衆議院での三分の二以上の賛成という、与党の数の暴力によって強行したものです。

また民主党が提出した政府案への「対案」を、与党は参議院で反対しておきながら衆議院では継続審議とする態度を表明、自民・公明・民主・国民新が賛成し共産・社民が反対するなかで、継続審議となりました。

## 与党—新テロ特措法強行のあと、民主党「対案」を継続に

これは新テロ特措法が一年の時限立法であり、民主党の「対案」が、自衛隊の常時迅速な海外派兵を可能にする恒久法の整備を求めていることから、今後民主党との協議によって「恒久法」を成立させたいと言う思惑からです。

民主党の「対案」は、「憲法下での自衛権発動の基本原則」を盛り込み、自衛権については「個別」「集団」の区別なく容認する方向を打ち出しており、与党幹部のなかでは「自民党では出せないものを出してくれた」との評価があります。

こうした「解釈改憲」を拡大する動きとともに、「明文改憲」を狙う動きも消えていません。〇八年の自民党運動方針案では、あらためて「新憲法制定に向けた国民的議論の喚起」を提起しています。

また自民・民主・国民新各党などの改憲派議員でつくる新憲法制定議員同盟(会長・中曽根康弘元首相)は三百人以上の賛同国会議員を組織し、改憲原案の審査権限を持つ憲法審査会の「早期始動」を働きかけています。

これらの情勢を踏まえ、今回のつどいは「どうなる憲法—ますます大切“草の根”の運動」をテーマに、会代表の山内一征から、十一月に開催された「九条の会」全国交流集会の報告も含めて話題提供し、九条を守る思いや活動の交流を行います。

第10号 2008年1月18日発行

あいち医師・歯科医師九条の会ニュース

名古屋市昭和区妙見町19の2、  
愛知県保険医協会内  
あいち医師・歯科医師九条の会  
〒466-8655  
電話 052-832-1345  
FAX 052-834-3512

# 九条の取り組みひろがる 医療者の会3周年で講演と展示

「九条の会・医療者の会」は、発足三周年を記念して十一月十日、東京・千代田区の中央大学駿河台記念館で講演会を開催した。今回は、命と健康を守ることを使命とする医師、医学者らが、戦争と憲法九条について語り合うことを目的とした。

## 記念講演会

「医療者の会」の呼びかけ人で産婦人科医の堀口雅子氏は、自らの戦争体験をふまえ、九条の大切さを訴えた。

旧日本陸軍七三二部隊の少年兵だった千葉県在住の篠塚良雄さんが証言。篠塚さんは、一九三九年に十五歳で同部隊の少年隊に入



「九条の会・医療者の会」発足3周年記念講演会のようす

隊。末端要員として細菌の運搬から始まり、細菌をばらまくために使うノミの大量生産、中国人らへの生体実験や解剖などに従事した。当時の体験などを語った。

篠塚さんは「入隊時は恐怖心はなく、やりがいがある仕事が続いている気がした。次第に人間としての本来の善悪の区別が付かなくなっていた」と当時を振り返り、戦争の非人間性を告発した。

篠塚さんと各地で証言運動を行っている「人間と性教育研究所」所長の高柳美知子さんは、戦前、戦中の軍国主義教育の下で若者が戦

争に駆り立てられたことを紹介しながら、若い世代に歴史の真実を受け継いでいきたいと訴えた。

福島県立医科大学講師の末永恵子さんは、旧日本軍の中国・熱河省侵略にかかわる医学・医療の実態がどうだったかを告発。熱河省侵略と米国のイラク戦争の開戦名目が類似している点を指摘し、医療が戦争遂行の宣伝目的に使われたと紹介した。国家の道徳性と医療関係者の倫理性の基本を支えるのが憲法九条だとして、憲法九条を変えるのではなく生かすという一点での共同の重要性をよびかけ

た。

## 「戦争と医学」 パネル展示も開催

「九条の会・医療者の会」では、発足三周年記念講演会に先立ち、十一月八日から十日まで、東京・文京区の平和と労働センターで、日本の医師・医学者の十五年戦争への加担の実態と責任を明らかにした「戦争と医学」パネル展示を開催した。

この「パネル」展示は、今年四月に開催された「第二十七回日本医学会総会」に「戦争と医学」展が出版されたもの。

「パネル」展示の初日には、日本の教育や子どもに関する問題を視察し、関係団体と懇談するために来日していた中国天津家庭教育

代表団の六人が立ち寄った。主催者側から「日本の医療者として、侵略戦争の責任問題を明らかにしていきたい」と訴えると、団長の趙輝氏が「お互いの国民は同じ思いです」とこたえた。

また、パネル展示のほか、今年八月に金沢テレビのニュース番組で「戦後六十二年企画」として放映された七三二部隊の企画をDVDで放映した。

青年分科会では、保守系議員も結集した「会」の結成や全戸配布や署名、地元紙への意見広告、駅前の大看板の活動などが次々と報告された。また、全国の「九条の会」は十一月二十四日現在で、六千八百一組織となったことが発表された。

集会は最後に、九条改憲反対、九条生かそうの圧倒的世論をつくらう、当面「すべての小学校区に九条の会をつくらう」、など「九条の会からの訴え」がされ閉会した。

「十五年戦争と日本の医学医療研究会」幹事長の蒔昭三さんは、「十五年戦争中の医学犯罪と今日の私たちの課題」と題して報告。蒔さんは、先の参議院選挙の結果を受け、「今、世論が政治を動かしつつある」として、選挙での改憲賛成政党や改憲反対政党への投票動向も紹介しながら、「九条の会」への参加よびかけを強調した。

た。

## 九条の会第2回全国交流集会



よびかけ人が登壇しあいさつした。左から、大江健三郎氏・奥平康弘氏・加藤周一氏・澤地久枝氏・鶴見俊輔氏

## 九条の会 6801に

### 第2回全国交流集会

十一月二十四日、東京・日本教育会館で「九条の会第二回全国交流集会」が開かれ、北海道から沖縄まで四十七都道府県、五百二十の「九条の会」から千二十人が参加し、会場をうめつくした。医療者の会からは、全国の会や愛知などの医師、事務局らが参加した。

集会では「九条の会」呼びかけ人の奥平康弘氏、加藤周一氏、澤地久枝氏、鶴見俊輔氏、大江健三郎氏が挨拶したあと、沖繩・はえはる、宮城・岩沼、青年、東京・こがねい、大阪・豊中の各九条の会の報告が行われた。

午後十一の分散会と

(このページの記事は、全国保険医新聞 2007年12月5日号から転載)